

教育



- ・令和4年度入学式を挙行
- ・「ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト」の開始に伴うキックオフイベントを開催
- ・令和4年度 NITS・教職大学院等コラボ研修「インクルーシブ教育時代の校長先生を支える特別支援教育マネジメント研修」を実施
- ・令和4年度大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択
- ・岐阜大学、中部学院大学、岐阜市立女子短期大学共同記者会見を実施
- ・宇宙工学講座特別講演会を開催
- ・気象データアナリスト養成プログラムを開講

令和4年度入学式を挙行

【概要】

本学は、令和4年4月7日（木）に令和4年度入学式を長良川国際会議場にて行い、学部学生1,352名、大学院学生596名が入学しました。なお、式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回に分けて執り行い、コロナ禍前の平成31年以来、3年ぶりに全ての入学生が出席できる入学式となりました。

吉田学長は、学部入学生への告辞で「大学における勉学は、自分の責任において社会人としてなす行動でもあるということを自覚して欲しい」、大学院入学生へは、「これから研究をする上で、必ず越えなくてはならない壁や難題に遭遇すると思いますが、決して諦めず "初志貫徹" を目指して努力して欲しい」と激励しました。

式典では、大学院入学生を代表して地域科学研究科の見山 寛奈さん、学部入学生を代表して社会システム経営学環の中嶋 萌さん、工学部の小野 凌世さんが宣誓を行い、「学業や研究に専念し、輝かしい未来に向かって日々努力する」などと抱負を語りました。



入学式の様子



宣誓する社会システム経営学環 中嶋さん

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/4/8	岐阜	学業・研究に日々努力 3年ぶり 岐阜大, 全入学生で式典 ～ 社会システム経営学環 中嶋 萌さん ～
2022/4/8	中日	「未来へ向かって日々努力」 岐阜大で入学式 ～ 吉田和弘 学長, 社会システム経営学環 中嶋 萌さん ～
2022/4/8	読売	岐阜大で入学式 全新生が出席 3年ぶり ～ 吉田和弘 学長, 応用生物科学部 服部吾郎さん ～

「ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト」の 開始に伴うキックオフイベントを開催

【概要】

宇宙産業を岐阜県の重要な成長産業として位置づけ、将来の「中核産業」として育成・支援するため、令和3年度に、岐阜大学と岐阜県等が協働して「ぎふ宇宙プロジェクト研究会（座長：吉田岐阜大学長）」を立ち上げました。このたび、本研究会の取り組みの一環として、岐阜大学が行う人材育成事業の一つである「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」（高大連携事業）の開始に伴い、キックオフイベントを令和4年4月23日（土）に岐阜大学で開催しました。

「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」とは、岐阜大学（地域協学センター・工学部）が例年開催する高大連携事業「宇宙工学講座」「缶サット甲子園」の取り組みを行う中で、岐阜大学が中心となって推進する人材育成事業の一つで、県内高校生を中心とした小型人工衛星の設計・製作・打上げ・運用を一貫して行う実践的な教育プログラムです。

当日は、プロジェクトに参加する県内工業高校4校（岐阜工業高等学校、可児工業高等学校、大垣工業高等学校、岐南工業高等学校）の教員・生徒、県内航空宇宙関連企業等約70名が参加しました。

始めに、吉田岐阜大学長による主催者挨拶、崎浦岐阜県商工労働部長及び堀岐阜県教育長による挨拶があり、その後、研究会・GHSプロジェクトの趣旨説明、はやぶさ2プロジェクトマネージャーのJAXA宇宙科学研究所津田教授による講演および高校生へのメッセージ、KOSEN-1衛星プロジェクトマネージャーの高知高専今井客員教授による講演等が実施されました。また、プロジェクトに参加する高校生が高校混在のチームを作り、今後のプロジェクト実施に向けた提案等を議論するグループワーク・成果発表、それに対する講評（森脇前岐阜大学長、村井工学部長）も行われました。

生徒たちは、今後、岐阜大学の教授及び学生からのアドバイスや県内の航空関連企業などの協力を得ながら小型の人工衛星の製作を進め、2年半後の打ち上げを目指します。



吉田岐阜大学長による開会挨拶



記念写真

令和4年度 NITS・教職大学院等コラボ研修 「インクルーシブ教育時代の校長先生を支える特別支援 教育マネジメント研修」を実施

【概要】

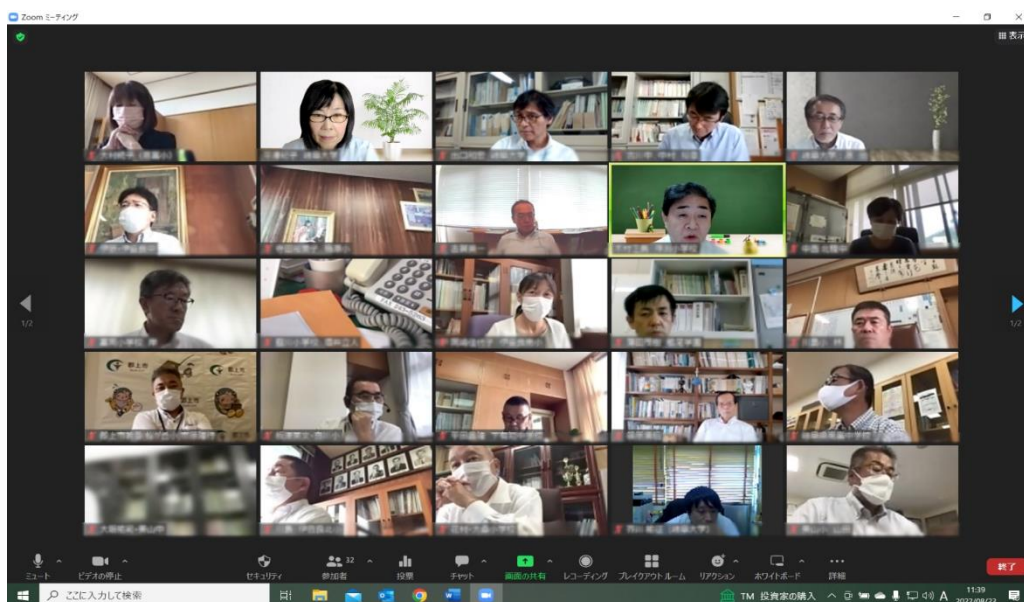
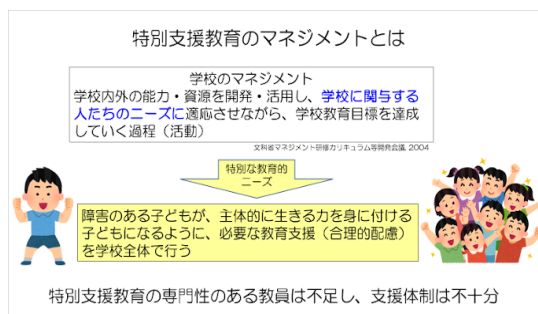
岐阜大学教職大学院は、令和4年8月23日（火）9：30～12：00に、独立行政法人教職員支援機構（NITS）とコラボレーションし、「特別支援教育マネジメント研修」をオンラインで開催しました。

今日、インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進が求められています。人材や体制が不十分な中で、校長先生には大変なご苦労があります。そこで、本学教職大学院では、岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校長会、山県市教育委員会の協力のもと、県下全ての小中学校の校長先生へのアンケート調査を踏まえて研修コンテンツを作成しました。本研修内容は、事前のオンデマンド動画で特別支援教育の基本知識を学び、ワークショップで自校の充実策を考え、フォローアップで成果を共有するというものです。

当日の研修では、研究協力者の校長先生と「教育支援」、「授業支援」、「人材育成」、「効果的なケース会議」のテーマ別に、ワークショップを行い、グループで、自校の課題を整理し、充実策を検討しました。

本研修を通して、人材や体制が不足する中でも、校長先生がリーダーシップを発揮し、人事や組織運営、外部連携等の充実策を見いだせることが明らかになるなど、有意義な学びの機会となりました。

本成果は、本年12月のフォローアップ研修にて共有し公開する予定です。



オンライン研修の様子

令和4年度大学教育再生戦略推進費 「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択

【概要】

令和4年8月30日、文部科学省が公募する令和4年度大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に、本学が事業責任大学となり申請した「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の確立～」が採択されました。

「地域活性化人材育成事業～SPARC～」は、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し、地域を牽引する人材を育成することを目的とするものです。この趣旨に添い、本プログラムでは、参加校である中部学院大学及び岐阜市立女子短期大学とともに各種の取組を実施し、地域社会の課題解決につながる活躍や新規事業の創業・起業など、地域社会での創発を促す人材の育成を通じ、地域社会の発展に貢献することとしています。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/9/11	岐阜	「推進法人」来年度設立 横断的教育、3大学連携 岐阜大の講義、受講可能に 岐阜大 中部院大 岐阜女子短大 ～「東海地域大学等連携推進法人」 杉山誠 副学長 ～

岐阜大学、中部学院大学、岐阜市立女子短期大学 共同記者会見を実施

【概要】

令和4年10月25日（火）に、岐阜大学、中部学院大学、岐阜市立女子短期大学の3大学が、令和4年度大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」採択課題「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の確立～」に関する共同記者会見を実施しました。

今回の会見には、岐阜大学吉田学長、杉山副学長、中部学院大学江馬学長、岐阜市立女子短期大学畑中学長が出席しました。

SPARCは、文部科学省が本年度から開始した事業であり、地域社会と大学間の連携を通じて、既存の教育プログラムを再構築し、地域をけん引する人材を育成することを目的としています。

この度、岐阜大学が事業責任大学となり中部学院大学および岐阜市立女子短期大学とともに申請した本プログラムは、これまでの大学間連携の活動を基盤として、岐阜県内の設置者が異なる3大学間にて、新たに大学等連携推進法人を結成して教育リソースを共有することで、各大学の教育内容を文理横断的、また、地域課題解決的に再構築することとしています。

また、地域社会の産官学金の各組織により「ぎふ地域連携プラットフォーム」を結成し、地域ニーズの集約と大学教育への反映などに取り組むこととしています。このプログラムにより、岐阜県における地域社会の課題解決につながる活躍や新規事業の創業・起業、地域社会での共生ができる人材育成を通じて、大学が地域社会の発展に貢献することを目指しています。

※ 本事業で設置する法人、組織等の名称は現時点で仮称であり、今後変更となる可能性があります。



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/10/26	岐阜	岐阜大，中部院大，岐阜女子短大 連携 「地域ニーズに 応える」 来年度の法人設立を発表 ～ 吉田和弘 学長，杉山誠 副学長 ～
2022/10/26	中日	岐阜大×中部学院大×岐阜市立女子短大 地域課題解決 へ人材育成で連携 ～ 吉田和弘 学長，杉山誠 副学 長 ～
2022/10/26	朝日	地域活性へ 育て人材 県内3大学がプログラム ～ 吉田和弘 学長，杉山誠 副学長 ～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2022/10/25	ぎふチャン 「ぎふサテ！」 18:15～18:25	岐阜大学、中部学院大学、岐阜市立女子短期大学 共同記者会見の様子を紹介 岐阜大学 吉田 和弘 学長，杉山 誠 副学長

宇宙工学講座特別講演会を開催

【概要】

本学工学部は令和4年11月9日（水）、在名古屋米国領事館協力の基、米航空宇宙局（NASA）アジア代表 Garvey McIntosh氏による「宇宙工学講座」の特別講演会を開催しました。

この講演会は岐阜県と岐阜大学が実施する「ぎふ宇宙プロジェクト研究会（座長：岐阜大学 吉田学長）」宇宙人材育成部門の基盤プロジェクト「宇宙工学講座」の一環として実施したもので、県内の高校生、高専生61名を含む約162名のほか、リモートで24名が参加しました。

本講演会では、まずNASAアジア代表を務めているGarvey McIntosh氏により“Launch America”と題し、アポロ計画や国際宇宙ステーションなどNASAのこれまでの取り組みについての紹介と、現在進行している人類の月面への帰還と火星への到達を目指すアルテミス計画についての講演が行われました。続いて、発展プログラムである県内高校生が国際宇宙ステーションからの小型衛星の放出を目指す「ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト」について、メンバーの岐阜工業高校3年武仲琢磨さんが紹介と報告を行い、McIntosh氏から助言と激励を受けました。その後、県内高校生、高専生とMcIntosh氏、駐名古屋米国領事館の田中里佳氏による意見交換会を行い、宇宙ミッションに携わるために必要なことについて議論を交わしました。

参加者からは講演・意見交換会を通じて多くの質問があり、宇宙ミッションに対する関心が非常に高いことがうかがわれました。今後、GHSプロジェクトを指導、サポートするとともに、関係機関との連携強化も目指したいと思えます。



McIntosh氏による講演



記念撮影の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/11/10	岐阜	宇宙開発 第一人者語る 岐阜大で講演 NASAアジア代表 ～ 工学部主催 ～

気象データアナリスト養成プログラムを開講

【概要】

本学工学部附属応用気象研究センターは大学院履修証明プログラム※として、大学初となる「気象データアナリスト養成プログラム」を開講します。

本プログラムは、社会人のリスキング（学び直し）として、気象や気候の影響を受けやすい様々な産業界の社会人を対象に、気象データを正しく読み解き、気象リスクに応じて最適な意志決定できる「気象データアナリスト」を育成するプログラムです。本学大学院自然科学技術研究科の専門科目8単位（合計96時間）からなる履修証明プログラムであり、リモートによる受講（オンライン・オンデマンド）を可能として全国の社会人の受講しやすさに配慮して開講します。詳細は気象データアナリスト養成プログラムページ (<https://www1.gifu-u.ac.jp/~amet/wda.html>) をご覧ください。

〔プログラム概要〕

【運営】東海国立大学機構 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

【講師】吉野 純、小林智尚、玉川一郎

【募集人数】15名程度

【受講料】35万円

【受講資格】日本の大学を卒業した者、または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

【受講期間】1年間（令和5年4月1日～令和6年3月31日修了予定）

【申請期間】令和5年2月20日（月）～令和5年3月7日（水）17:00

【その他】本プログラムは経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座」及び気象庁「気象データアナリスト育成講座」の認定を受けています。

※ 履修証明プログラム：

学位課程より短期間のプログラムを学生以外に提供するものとして、平成19年に創設されたプログラム。社会人の学び直し手段として浸透しています。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/2/21	岐阜	気象アナリスト育成 岐阜大，社会人向けに4月から講座 データ分析，企業リスクに対応 ～「気象データアナリスト養成プログラム」 工学部附属応用気象研究センター 吉野純 センター長 ～
2023/2/21	朝日	気象をビジネス活用 アナリスト養成講座 岐阜大 4月オンライン開講 ～「気象データアナリスト養成プログラム」 工学部附属応用気象研究センター 吉野純 センター長 ～
2023/2/24	中日	気象データ分析の人材養成 岐阜大，社会人向けに今春開講 企業課題解決や新ビジネス創出へ ～「気象データアナリスト養成プログラム」 工学部附属応用気象研究センター 吉野純 センター長 ～